

《植物文様》とは

連作『植物文様』は、葉や茎に電極をつけ、そこから得られる電位変化のデータをもとに音楽的に読み換えるという手法により生み出された音楽です。植物の電位変化という微かなふるえ。そこからパターンを見だし、そのパターンのつながりや重なりが音楽というかたちに変容していく。

その夢にも似たかすかな揺らぎは、植物、動物、渾然とした生物の古い螺旋の記憶を呼び覚まし、やがて一つの地球となって万物を音祝ぎ始める。

ZAF2024の企画『余白露光』の続編。

テルミンと箏の演奏会に、
境界剪画(切り絵)再び！

余白露光 テルミンと箏 2

テルミンとは

テルミンは、1920年に、ロシアの物理学者レフ・セルゲーエヴィチ・テルミン博士が発明した世界で一番古い電子楽器です。楽器本体に触れずに演奏する、という珍しい楽器です。演奏者は、楽器周囲で体を動かす事によって音曲を奏でます。

箏とは

日本伝統楽器の一つで、奈良時代に中国から伝わった楽箏をもとに改善されて江戸時代初めに現在の俗箏のスタイルが整えられました。世界中の楽器の中で一番α波が出る楽器と脳学者により発表され、美しく伸びる余韻を堪能できる楽器です。

十七絃箏とは

宮城道雄氏が作曲および合奏するにあたり低音域の必要性を求め作られました。当初はあくまで伴奏楽器でしたが、沢井忠夫氏により独奏楽器として確立されました。従来の箏とは異なる深く沁み渡る音の特徴です。

テルミンミュージアム

2020年8月28日、逗子市にオープンした、小さな非営利の私設博物館です。初期のRCAテルミンを含め、29種類(2025年4月2日現在)のテルミンが展示されており、一部のテルミンは体験可能です。ご見学は完全予約制。お問合せください。



今まで断片的にしか演奏してこなかった『植物文様』も、ロングバージョンの演奏を行います。

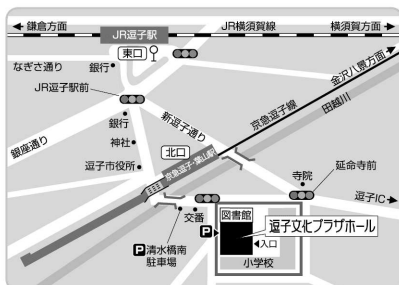
藤枝岡先生に書き下ろして頂いた植物文様シリーズの新曲初演。

切り絵と映像イリュージョンの世界に、テルミンと箏。

今までは、この切り絵がなびきホールにありました。

映像を投影し、テルミンの演奏を行いました。

ZAF2024『余白露光』では、旧逗子高等学校の武道場に、作家の新作した切り絵十七本と、逗子の学校の生徒さん達の新作した切り絵を立体的に展示、映像を投影し、テルミンの演奏を行いました。



逗子文化プラザ なぎさホール(逗子市逗子4-2-10)
京浜急行「逗子・葉山」駅より徒歩2分/JR「逗子」駅より徒歩5分
※駐車場は台数に限りがありますので、
可能な限り公共交通機関をご利用ください。

《チケットお取り扱い》

テルミンミュージアム(大西)
theremin@art.nifty.jp 090-8434-9482

※逗子文化プラザホール受付でも購入できます(6/18より)

《チケット代金振込先》

ゆうちょ銀行
店名(店番):〇一九(ゼロイチキウ)店(019)
預金種目:当座
口座番号:0623042
口座名:サイキカク

※口座記号番号でお振り込みの場合
口座記号番号 00170-8-623042
加入者:彩企画 カナ:サイキカク